

# 謹賀新年 新年のあいさつ

## 「新しい議会づくり」に邁進



杉戸町議会議長  
伊藤美佐子

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様には、健やかに新春を迎えることとお慶び申し上げます。

日ごろより、議会に対しまして深いご理解と暖かいご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、いよいよ本年4月に旧杉戸小学校跡地の「ココティすぎと」が、オープンいたします。町民の皆様も、大いに期待されていることと存じます。また、町の玄関口である東武動物公園駅東口通り線の整備も着々と進められており、新しいまちづくりへの躍動が一層感じられる風景となつてまいりました。

一方、杉戸町議会におきましては、昨年8月の町議会議員選挙を経て、7名の新人議員を含むフレッシュな顔ぶれのもと、新体制がスタートいたしました。定数のほぼ半分が交替となりましたが、さらに開かれた新しい議会を目指す好機と捉え、「議会懇談会の開催」「一般質問の配信」「ペーパーレス化の推進」を柱に議会改革を進めていく所

## 「みんなで育てるまちすぎと」へ



杉戸町長  
窪田裕之

明けましておめでとございます。町民の皆様には、希望に満ちた新春を健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。

これまでの約4年間、新型コロナウイルス感染症対策により、多くの御不便をお掛けいたしておりますが、町民の皆様の格別の御理解と御協力を賜りましたことに、心から厚く御礼申し上げます。

さて、新しい杉戸へ歩み出した昨年を振り返りますと、5月から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、2類相当から季節性インフルエンザと同じ5類に変更となりました。徐々に、コロナ禍前の日常生活を取り戻す大きな一歩を踏み出したことは、何事にも代えがたいものであると感じたことは私だけではないと思います。イベントの開催制限が緩和されたことにより、杉戸夏まつりをはじめ、古利根川流灯まつり、スポーツフェスティバル2023、農業祭、商工祭など、大小様々なイベントを工夫を凝らしながら開催することができました。特に『まつり』という杉戸の伝統行事においては、コロナ禍の経験から学んだ新たな運営方法により、多くの賑わいが生

まれました。まさに、まちづくりへの攻めのアクセルを踏めたことによる成果だと思っております。改めて、各まつり実行委員会等の皆様に心から感謝申し上げます次第でございます。

また、平成30年より旧杉戸小学校跡地（旧中央公民館周辺）活用事業の工事が順調に進み、「ココティすぎと」（エリアの愛称）が、いよいよ今年の4月にオープンいたします。「広場を中心とした、多世代が憩い、利活用できる公共空間」をコンセプトに進めてきたこの施設が今後は、子どもから高齢者まで多くの皆様が様々な目的でこの場所に訪れていただき、東武動物公園駅前の新たなシンボルとなるよう、みんなで作り上げる魅力ある施設にしてまいります。

早いもので、杉戸町のリーダーを担わせていただき2年目に入りました。新年を新たな気持ちで迎え、杉戸町の新しい未来に向けて、町民の皆様や町議会、地域・民間企業など、全ての方々と手を取り合い、「みんなで育てるまちすぎと」の実現に向け、積極果敢に取り組んでまいりたいと決意いたしました。つきましては、今年も引き続き、都市計画道路下野久喜線等の4つの優先政策と9つの課題へ挑戦し、町長として責任を果たしてまいりますのでよろしくお願いいたします。

結びに、本年が町民の皆様にとりまして、幸多き素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

存です。

まずは、全議員が一つのテーブルを囲んで課題に取り組み、町民の皆様と真ん中に、対話し、適切な選択や新しい創造のために知恵を出し合い、町民の皆様が寄り添った政策の推進に取り組んでまいります。

また、議会は今何をしているのか、を町民の皆様にお知らせするために、タイムリーな情報発信に努めてまいります。

さらに、新しい生活様式が定着しつつあり、デジタル化が加速化している中、議会も率先してこの取組を進め、より効果的・効率的な議会運営を目指してまいります。

「新しい議会づくり」に邁進すべく、15人ががっちりスクラムを組み、町民の皆様への負託に応えられるよう決意を新たにしておりますので、どうか本年も町民の皆様の一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年の干支は、「甲辰（きのえたつ）」でございます。甲は、耐え忍ぶ状態、生命や物事の始まりも意味します。辰は、隆盛の象徴「龍」としても親しまれてきました。この一年が、皆様にとって活気にあふれた年になりますよう心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。